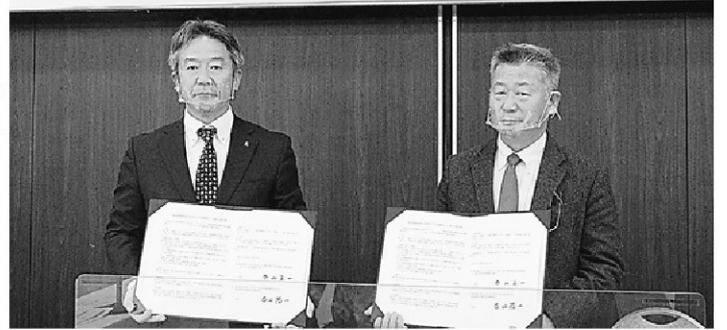


農業の担い手育てよう

法人協会 県立11高1分校 協定

熊本県立農業関係高等学校・(一社)熊本県農業関係人材育成に関する包括的連携協定



人材育成の連携協定を結んだ熊本農高の古田陽一校長(左)と県農業法人協会の香山勇一会長=15日、熊本市中央区

県立の農業関係高等学校11校1分校と県農業法人協会は15日、次世代を担う農業人材の育成や就農促進に向けた連携協定を締結した。高校生を対象にした農業研修や体験学習などに協力して取り組む。同協会は県内110法人の経営者らで組織し、ICT(情報通信技術)などを活用する先進的農家も多い。農業関係高校では近年、非農家出身の生徒や教職員も増えており、各法人のノウハウや技術

を学校教育に生かす狙いがある。協定は6項目。協会が農業経営や6次産業化、スマート農業などをテーマに講演するほか、技術指導やインターシップの受け入れなどを実施する。熊本市の熊本テルサで協定調印式があり、熊本農高(熊本市南区)の古田陽一校長が「地元で活躍する農業者と連携し、人材育成を図りたい」とあいさつ。県農業法人協会の香山勇一会長(益城町)は「新たに巣立つ学生と共に農業ができるよう協力していく」と述べた。(中尾有希)